



平成23年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年3月9日

上場取引所 東

上場会社名 クミアイ化学工業株式会社
コード番号 4996 URL <http://www.kumiai-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 英助
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 小池 好智

TEL 03-3822-5036

四半期報告書提出予定日 平成23年3月17日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成23年10月期第1四半期の連結業績(平成22年11月1日～平成23年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年10月期第1四半期	8,709	4.4	438	49.5	569	36.9	321	9.2
22年10月期第1四半期	8,343	△13.3	293	△1.2	416	21.7	294	238.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年10月期第1四半期	3.99	—
22年10月期第1四半期	3.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年10月期第1四半期	54,130	40,084	70.4	473.05
22年10月期	51,704	39,525	72.7	466.65

(参考) 自己資本 23年10月期第1四半期 38,103百万円 22年10月期 37,588百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年10月期	—	—	—	3.00	3.00
23年10月期	—	—	—	—	—
23年10月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年10月期の連結業績予想(平成22年11月1日～平成23年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,100	2.0	2,250	7.1	2,500	0.1	1,600	△0.2	19.86
通期	39,100	2.2	1,000	1.0	1,500	△12.1	900	△30.3	11.17

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年10月期1Q	86,977,709株	22年10月期	86,977,709株
② 期末自己株式数	23年10月期1Q	6,428,761株	22年10月期	6,427,720株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年10月期1Q	80,549,280株	22年10月期1Q	80,555,012株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復を背景とした設備投資の持ち直しや海外経済の改善による輸出の増加の動きが見られたものの、雇用や所得環境は引き続き厳しい状況にあり、個人消費は駆け込み需要の反動が見られるなど、自律的な回復の動きが弱い状況で推移しました。

このような情勢のもと、国内・国外とも、新たに登録を取得し上市した製品及び既存の自社開発製品を中心に積極的な営業活動を図ってまいりました。その結果、当グループの第1四半期連結会計期間における売上高は87億9百万円、前年同期比3億6千6百万円(4.4%)の増となりました。損益面につきましては、売上高が増加したことなどにより、営業利益は4億3千8百万円、前年同期比1億4千5百万円(49.5%)の増、経常利益は5億6千9百万円、前年同期比1億5千3百万円(36.9%)の増となりました。四半期純利益は、前年同期に比べ特別利益が減少しましたが、営業利益の増加がそれを上回ったことから、前年同期比2千7百万円(9.2%)の増の3億2千1百万円となりました。

セグメントの概況につきましては以下の通りです。

セグメント	平成23年10月期 第1四半期		平成22年10月期 第1四半期		前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
	百万円	%	百万円	%	%
化学品	7,832	89.9	7,575	90.8	3.4
賃貸	54	0.6	53	0.6	1.5
その他	823	9.5	715	8.6	15.2
計	8,709	100.0	8,343	100.0	4.4

① 化学品セグメント

国内部門においては、昨年新たに登録を取得し、上市しました水稲用除草剤「ピリミスルファン剤」、水稲用箱処理剤「イソチアニル剤」及び園芸用殺虫剤「コルト」等を中心として市場への定着及び販売促進に注力し、ほぼ前年同期並となりました。

国外部門においては、米国における棉用除草剤「ステイブル」が棉の栽培面積増加を背景として好調に推移したことなどから、前年同期を上回りました。

その結果、化学品セグメントの売上高は78億3千2百万円、前年同期比2億5千6百万円(3.4%)の増、営業利益は4億9千9百万円、前年同期比1億3千9百万円(38.7%)の増となりました。

② 賃貸セグメント

引き続き保有資産の有効活用に努めた結果、賃貸セグメントの売上高はほぼ前年同期並の5千4百万円(セグメント間の内部売上を含めた売上高は9千4百万円)、前年同期比1百万円(1.5%)の増、営業利益は6千1百万円、前年同期比1百万円(1.0%)の減となりました。

③ その他

流通事業、印刷事業、情報サービス事業及び環境中の化学物質等計量事業で構成されるその他は、流通事業の積極的な営業活動・顧客拡大により売上高は8億2千3百万円、前年同期比1億9百万円(15.2%)の増、損益面では売上高の増加と売上高原価率の低減により営業利益は2千7百万円、前年同期比2千3百万円(597.4%)の増となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の変動状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は541億3千万円で、前連結会計年度末に比べ24億2千6百万円の増加となりました。これは主に商品及び製品並びに受取手形及び売掛金等の増加が、現金及び預金の減少を上回ったことによるものです。

負債は140億4千6百万円で、前連結会計年度末に比べ18億6千7百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。

純資産は400億8千4百万円、自己資本比率は70.4%、1株当たり純資産は473円05銭となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、36億1百万円の減少となりました。これは、税金等調整前四半期純利益5億3千6百万円及び仕入債務の増加29億1千2百万円等の資金の増加に対し、売上債権の増加26億1千4百万円及びたな卸資産の増加31億5千万円等の資金の減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、6千2百万円の増加となりました。これは、定期預金の減少2億5千万円等の資金の増加に対し、有形固定資産の取得による支出1億2千1百万円等の資金の減少によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億7百万円の減少となりました。これは、配当金の支払2億1千8百万円等の資金の減少によるものです。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、期首残高に比べ37億4千2百万円減少し、82億2千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想は、平成22年10月期の決算発表時(平成22年12月15日)の業績予想からの変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間から、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ0百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は2千9百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成23年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,761	12,753
受取手形及び売掛金	8,350	5,732
有価証券	55	55
商品及び製品	9,143	5,816
仕掛品	1,943	2,176
原材料及び貯蔵品	1,119	1,063
繰延税金資産	592	592
その他	424	381
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	30,386	28,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,537	3,573
機械装置及び運搬具（純額）	783	829
土地	6,311	6,310
その他（純額）	534	568
有形固定資産合計	11,164	11,280
無形固定資産	243	247
投資その他の資産		
投資有価証券	11,250	10,479
繰延税金資産	144	158
その他	944	975
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	12,337	11,611
固定資産合計	23,744	23,138
資産合計	54,130	51,704

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成23年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,924	6,020
短期借入金	61	11
未払金	837	1,376
未払法人税等	175	406
賞与引当金	160	453
環境対策引当金	13	50
その他	403	452
流動負債合計	10,573	8,768
固定負債		
長期借入金	14	17
繰延税金負債	803	552
退職給付引当金	1,955	1,951
役員退職慰労引当金	275	470
その他	426	420
固定負債合計	3,473	3,410
負債合計	14,046	12,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,534	4,534
資本剰余金	4,833	4,833
利益剰余金	28,734	28,656
自己株式	△1,226	△1,226
株主資本合計	36,876	36,797
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,552	1,166
為替換算調整勘定	△325	△374
評価・換算差額等合計	1,228	791
少数株主持分	1,980	1,937
純資産合計	40,084	39,525
負債純資産合計	54,130	51,704

(2) 四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年1月31日)
売上高	8,343	8,709
売上原価	6,287	6,425
売上総利益	2,056	2,283
販売費及び一般管理費	1,762	1,845
営業利益	293	438
営業外収益		
受取利息	12	15
受取配当金	57	58
持分法による投資利益	46	65
その他	15	33
営業外収益合計	131	170
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	5	5
為替差損	—	10
保険解約損	—	17
その他	3	7
営業外費用合計	8	39
経常利益	416	569
特別利益		
固定資産処分益	0	—
受取補償金	97	—
特別利益合計	97	—
特別損失		
固定資産処分損	2	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	29
特別損失合計	2	33
税金等調整前四半期純利益	510	536
法人税等	200	181
少数株主損益調整前四半期純利益	—	355
少数株主利益	17	34
四半期純利益	294	321

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	510	536
減価償却費	175	168
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	29
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△310	△293
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7	3
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10	△196
その他の引当金の増減額(△は減少)	△65	△37
受取利息及び受取配当金	△69	△73
支払利息	5	0
為替差損益(△は益)	3	1
持分法による投資損益(△は益)	△46	△65
受取補償金	△97	—
売上債権の増減額(△は増加)	△3,931	△2,614
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,049	△3,150
仕入債務の増減額(△は減少)	4,954	2,912
その他	△382	△526
小計	△2,285	△3,303
利息及び配当金の受取額	63	81
補償金の受取額	—	32
利息の支払額	△5	△0
法人税等の支払額	△63	△411
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,289	△3,601
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	199	250
有形固定資産の取得による支出	△139	△121
有形固定資産の売却による収入	4	—
無形固定資産の取得による支出	△6	△56
投資有価証券の取得による支出	△480	—
その他	△4	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△426	62
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	30	50
長期借入金の返済による支出	△3	△3
自己株式の増減額(△は増加)	△1	△0
配当金の支払額	△221	△218
少数株主への配当金の支払額	△8	△8
その他	△21	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△224	△207
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,961	△3,742
現金及び現金同等物の期首残高	11,033	11,971
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,072	8,229

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、農薬の製造販売等を事業とする「化学品事業」、土地・建物等の不動産賃貸を事業とする「賃貸事業」を2つの報告セグメントとして、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年11月1日 至 平成23年1月31日)

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	化学品 (百万円)	賃貸 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	7,832	54	7,885	823	8,709	—	8,709
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	40	40	333	373	△373	—
計	7,832	94	7,926	1,156	9,082	△373	8,709
セグメント利益	499	61	560	27	586	△148	438

(注)1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△148百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。